

審査した案件と結果

知事提出の議案	議員等提出の案件
・予算 2件(可決)	・人事 1件(同意)
・条例 10件(可決)	・報告 16件(承認)
・事件 5件(可決)	・請願 1件(不採択)
	・意見書 4件(可決)

可決された意見書

- 地方財政の充実・強化に係る意見書
- 奨学金制度の充実を求める意見書
- 骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書
- 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書



6月13日、浜町アーケードにおいて、「がん検診受診啓発街頭キャンペーン」を実施しました。

県議会として、がん検診の受診率向上のため、今回で8回目の実施となりました。
本県のがん死亡率は全国ワースト5位となっており、がん検診を受ければ、5年後の生存率に大きく影響します。がんから命を守るためには、早期発見・早期治療が重要です。健康な体で長生きできるように、年に1回は、がん検診を受けましょう!!

平成28年6月定例会にて活発な論議が交わされました!

副議長就任あいさつ

このような時期に、副議長という大任を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。重要な課題を抱えており、私にとりましては、誠に身に余る光栄でございます。県政においては、人口減少対策、経済雇用対策、離島振興対策など、多くの重要な課題を抱えております。県民の声を聞き、責任の重さを痛感しております。重要な課題を抱えており、私にとりましては、誠に身に余る光栄でございます。県政においては、人口減少対策、経済雇用対策、離島振興対策など、多くの重要な課題を抱えております。県民の声を聞き、責任の重さを痛感しております。重要な課題を抱えており、私にとりましては、誠に身に余る光栄でございます。県政においては、人口減少対策、経済雇用対策、離島振興対策など、多くの重要な課題を抱えております。県民の声を聞き、責任の重さを痛感しております。



坂本 智徳

本定例会では、そのほか「地方財政の充実・強化に係る意見書」など4件の意見書を可決し、閉会しました。

お知らせ

インターネット中継
インターネットを利用した県議会議中継(生中継・録画中継)を実施しています。

ホームページ会議録
長崎県議会 検索

会議録全文を掲載しています。

掲載内容
○平成28年2月～28年2月定例会の本会議・常任委員会
○平成24年4月～28年3月分の特別委員会

◎本会議・委員会は、原則としていつでも視聴できます。
◎2回目の定例会は、9月9日に始まる予定です。

一般質問

<p>熊本地震による本県被害対策への官民の取組みについて 久野 哲</p> <p>【質問】熊本地震の影響で、最近1カ月の売上高等が前年同月比で10%以上減少している中小企業が対象で、融資限度額は300万円である。旅館・ホテル業に限ると、6月1日まで5件1億2400万円が保証承諾されており、すべてがセーフティネット保証制度を利用してはいる。</p> <p>【答弁】熊本地震の影響で、最近1カ月の売上高等が前年同月比で10%以上減少している中小企業が対象で、融資限度額は300万円である。旅館・ホテル業に限ると、6月1日まで5件1億2400万円が保証承諾されており、すべてがセーフティネット保証制度を利用してはいる。</p>	<p>新幹線整備に伴う在来線(長崎本線)対策について 橋村 松太郎</p> <p>【質問】在来線沿線の地域振興策について、地域的情緒が味わね、沿線住民の胸がときめくような対策を講ずるべきか。また、佐賀県との連携は。</p> <p>【答弁】JR九州と地域が連携した企画列車や地域イベントとタイアップした列車の運行などは新幹線の開業効果を波及させる上でも大変有意義なもので積極的に進捗していきたい。また、今後新幹線開業に向けたアクションプランの策定にあたり、佐賀県と情報交換や協議を行い検討していきたい。</p>	<p>熊本地震を教訓とした防災対策について 徳永 達也</p> <p>【質問】県内の港湾の耐震強化岸壁の整備状況、通常の港湾施設の耐震性及び港湾予算の確保について、どのように考えているか。</p> <p>【答弁】県内の耐震強化岸壁の整備は、7港で完了し、4港で事業に着手している。平成11年度以降整備している港湾施設は、阪神・淡路大震災に対する設計に範疇され、最新の知見に基づいた耐震性を確保している。被災地の支援拠点として重要な役割を果たす港湾の実情等を鑑み、今後とも必要な予算を確保していきたい。</p>	<p>九州新幹線西九州ルート及びJR佐世保線の輸送改善について 久野 哲</p> <p>【質問】九州新幹線西九州ルート及びJR佐世保線の輸送改善について、知事の考えは。</p> <p>【答弁】極めて重要な課題であると認識しており、国の政策実施等において、Fリーグ・グレート・レイアウト(GLO)の技術開発の促進、佐世保市への乗り入れのための整備などを訴えている。佐世保市との共同でJR佐世保線の高速度化・F市導入の可能性を含め、複数の輸送改善手段について調査を行った。今後は、調査結果の精査を行い、佐世保市やJR九州と連携を図り、引き続き検討を深める。</p>
<p>県内経済・雇用の実態について 渡辺 敬勝</p> <p>【質問】非正規社員の正社員登用を促す国の「キャリアアップ助成金」制度を活用した取り組みの成果は。</p> <p>【答弁】助成金制度は、非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップなどを目的として平成25年度に創設された。事業主が3～5年の計画を策定し、その間に正規化した人数の実績に応じて支給される。助成金を利用して平成26年度に24名、平成27年度に1779名、計2003名が正社員に登用されている。</p>	<p>流域下水道の高度処理について 山口 純正</p> <p>【質問】下水道処理水の再利用の選択肢が増えれば、大村市の環境負担を軽減することになる。高度処理に向けた財源確保のため、湖沼水質保全特別措置法のような措置が必要ではないか。</p> <p>【答弁】過去の政府実施要望で大村市の環境保全等のための特別措置法制定を提案したが実現しなかった。現在、補助率の高上げや財源確保等を要望している。高度処理方法の検討等によりコスト削減を図るとともに、引き続き国に財源確保等を要望していきたい。</p>	<p>農林水産業の担い手の育成について 近藤 智昭</p> <p>【質問】離島の漁業者が希望を保持することができないような収益性の高い経営体の育成が不可欠かと思うが、県として今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>【答弁】経営改善や新たな事業展開を目指す経営体に対し、県・系統団体の策定指導し、経営指導や必要計画の策定指導に取り組み、また、必要な機器等の整備についても支援を行い、漁業者が夢や希望を持てるような経営体への育成を推進する。</p>	<p>東庁舎跡地活用問題と長崎県立植物園の存続について 高比良 元</p> <p>【質問】県に東庁舎跡地での市庁舎建設について検討の迫り上について、市役所位置については、ます市や市議会で議論すべき課題と考える。東庁舎跡地活用問題の安全確保対策を講じている。現状では巨額の財源が必要となり、現状での継続は極めて難しいと判断する。</p> <p>【答弁】市から「東庁舎跡地に市役所を」という提案は一度もない。市役所の位置については、ます市や市議会で議論すべき課題と考える。東庁舎跡地活用問題の安全確保対策を講じている。現状では巨額の財源が必要となり、現状での継続は極めて難しいと判断する。</p>
<p>農地の有効活用について 山本 啓介</p> <p>【質問】未相続農地等について、どのように貸し借りを進めていくことになるか。</p> <p>【答弁】平成21年の農業経営基盤強化促進法改正で、平成26年の農地法改正で、過半数の権利者を確定できない場合でも、遊休農地等については、知事が農地中間管理機構への5年以内の利用権の設定を行うことができるようになったため、この制度を農業委員会や市町、生産者等に周知をし活用しながら、未相続農地等の貸し借りを進めていく。</p>	<p>ながさき親孝行プロジェクト(仮称)について 友田 吉泰</p> <p>【質問】県外で暮らす本県出身者に対して、ビジネスモデルとして、実家のリフォームや庭木の手入れなどのサービスを提供するような仕組みが考えられる。</p> <p>【答弁】さまざまな事業者のサービスを提供するようには、現時点では、本市や市議会で議論すべき課題と考える。東庁舎跡地活用問題の安全確保対策を講じている。現状では巨額の財源が必要となり、現状での継続は極めて難しいと判断する。</p>	<p>長崎県亜熱帯植物園の存続について 中山 功</p> <p>【質問】地域住民が主体的に活動している中、今年、今般停止決定をしなければならぬ。今後、この園を含めた野母崎地域の振興についてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>【答弁】さまざまな角度で検証される方法を検討したが、同園一帯の地味さへは、現在も進行しており、来園者の安全確保が難しいことから、営業を停止させるを得ない。今後、地域の活性化策や県としての役割について、地元の皆様と一緒に知恵を出しながら検討を進める。</p>	<p>総務委員会 山本 由夫 委員長</p> <p>総務委員長は、重要施策の企画立案、行政改革、地方創生の推進、総合交通体系の整備、文化観光、物産振興対策、危機管理、</p> <p>特に、少子・高齢化の進行や経済・雇用情勢の悪化など、本県を取りまく環境が厳しさを増す中におきまして、本委員会が取り扱う各種施策は、大変重要なものばかりです。このため、それぞれが直面する課題の解決に向けて、本委員会が活発に議論を交わし、誰もが暮らしやすい長崎県づくりのために、全力を注いで参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p>

常任委員会委員長あいさつ及び主な論議事項

<p>予算決算委員会 中村 和弥 委員長</p> <p>予算決算委員長は、中村和弥です。 本委員会は、予算案及び決算案の審査を行うため、議長を除く全議員より常任委員会として設置されています。委員全員で、予算及び</p>	<p>農水経済委員会 吉村 洋 委員長</p> <p>農水経済委員長は、吉村洋です。 本委員会は、本県の主要産業である農林水産業及び産業振興の分野を所管しており、厳しい農林水産業状況の中において、より効果的かつ効果的な</p>	<p>環境生活委員会 中島 浩介 委員長</p> <p>環境生活委員長は、中島浩介です。 本委員会は、県民生活環境、環境部、土木部、交通局の4部局の審議を行っています。主な事業は、県民の安全と安心な生活の確保やNPO等</p>	<p>文教厚生委員会 宅島 寿一 委員長</p> <p>文教厚生委員長は、宅島寿一です。 本委員会は、「子育て、教育から福祉、保健医療に至るまで、県民皆様の生活に大変身近な分野を所管いたして参ります。</p>	<p>総務委員会 山本 由夫 委員長</p> <p>総務委員長は、山本由夫です。 本委員会は、重要施策の企画立案、行政改革、地方創生の推進、総合交通体系の整備、文化観光、物産振興対策、危機管理、</p>
--	--	--	---	--